



社会福祉法人 済生会支部

大分県 済生会 日田病院 広報誌「なでしこ」(巡回通信誌)



# なでしこ

NADESHIKO

Oita Prefecture Saiseikai Hita Hospital

2024  
新年号  
vol.06

1~3月



日田珍珠唯一の公的救急告示病院  
済生会日田病院救急医療の最前線

特集：当院の救急医療の取り組み

救急科医員 梅津 成貴  
医員 郡 奈央



<https://saiseikai.hita.oita.jp>

## INDEX

- 2 | コラム:2024年「年頭所感」:院長 林田良三
- 3-5 | 特集:当院の救急医療の取り組み  
救急外来・病棟管理について  
当院DMATの活動
- 6 | トピックス:ICLSコースで医療者の救命スキル向上へ  
第二回なでしこリユース事業の開催

- 7 | 連携医療機関紹介記事「大分友愛病院」・ID-Link
- 8 | インフォメーション:無料又は低額診療のご案内  
令和5年度 巡回診療事業計画のお知らせ

# 2024年「年頭所感」

院長 林田 良三



新年明けましておめでとうございます。

2024年という新しい年を迎えるにあたり、昨年1年間をまずは世界、日本といった大きな視野で振り返ってみたいと思います。2023年は年頭に誰もが願ったであろう平和で希望に満ちた年には残念ながらなりません。

歴史に学ぶことなく世界各地で繰り返される戦争や衝突。技術革新の名のもと人間の飽くなき欲を追求し続けた結果もたらされた地球温暖化。それによって世界中で頻発する異常気象による悲劇。国内に目を向けると世界に先駆けて進む少子高齢化社会がもたらす日本社会を根底から揺るがす人手不足や経済不安。様々な困難に直面している日本社会の舵取りを担っているはずの政界で相次ぐ不祥事。分断と混沌が渦巻き、先行きが見通せない不安と恐怖に苛まれた一年であったように思います。今年こそ悪循環に陥った歯車の動きに歯止めがかかり、少しでも明るい未来が垣間見える一年になることを願わずにはられません。

次に医療界と当院の1年間を振り返ってみます。まず頭に浮かぶのは昨年5月8日、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が第5類に移行したことです。これにより、感染者への入院勧告、感染者と濃厚接触者への外出制限、屋内でのマスク着用の推奨など今まで法的根拠に基づいて行われてきた様々な社会生活上の制約は撤廃されました。また、公費でまかなわれてきた感染者の検査費や治療費は他の疾患と同様に自己負担が求められることになり、診断、治療にあたってきた医療施設への補償も段階的に撤廃されました。3年以上にわたって世界を分断と混乱に陥れ、経済の低迷をもたらしてきた未曾有の新興感染症パンデミックにやっと一区切りがつかしました。

5類移行までの当院の3年間を振り返って、まず述べたいのは済生会日田病院全職員への労いと感謝の気持ちです。感染患者の受け入れを始めた2020年当初は未知なるウイルスへの不安や恐怖心、謂われない誹謗中傷があるなか身を挺して感染者の診療に多くの職員があたってくれました。また、このような職員を部署の垣根を越えて後方支援してくれた職員、地域唯一の公的病院の役割である救急医療をはじめとする一般医療を限られた人員で維持、死守してくれた職員、これらすべての職員の頑張りでのこの3年間の苦境を乗り越え、当院の使命を果たすことができました。改めて全職員に感謝するとともに院長として誇りに思っています。

加速する高齢化や医療の進歩による医療費の増加は「医療費亡国論」という言葉まで生み出し、厳しい目が向けられています。本年4月にスタートする医師の働き方改革、地域医療の効率化を目指す地域医療構想、2024年も医療界は絶え間なく押し寄せる荒波を乗り越えて進んでいかなければなりません。新型コロナウイルス感染症パンデミックを乗り越えてきた全職員とともに2024年の荒海に漕ぎ出して行きたいと思います。



## 救急外来・病棟管理について

### 救急科医員 梅津 成貴

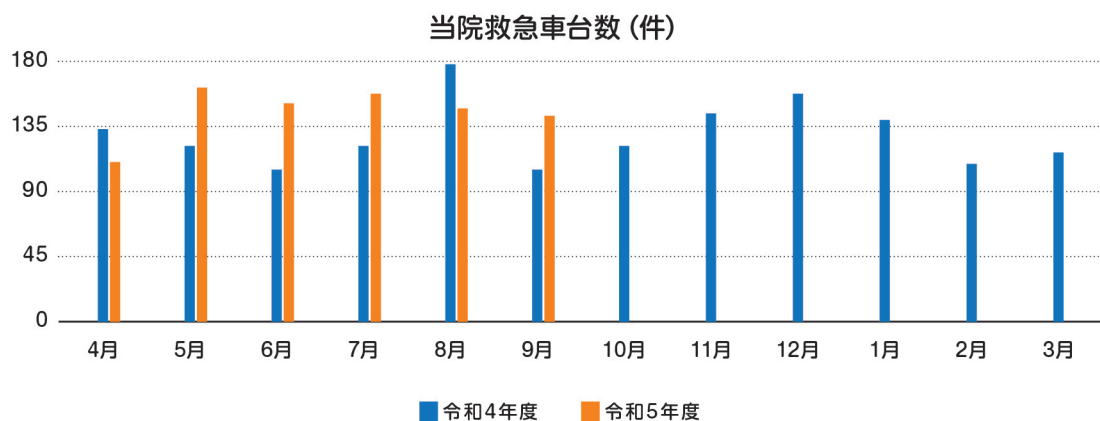
日田玖珠九重の皆さんこんにちは!!本年度より済生会日田病院救急科医員となりました梅津成貴と申します。救急科と聞いても、なかなか一般の方は何をしている科なのかわかりにくいかと思いましたので3つに分けて(救急外来、病棟管理、DMAT)仕事内容の一部をご紹介します。いただきます。



### 救急外来について

当院は日田玖珠唯一の公的救急告示病院であり、大分県西部地区医療圏の中心病院です。その中で救急科は内科・外科を問わず急病の患者さんの対応をさせていただいております。特に重症の患者さんの場合は根本治療を行うまでの救命処置、その後の全身管理を行っております。

高齢化に伴い救急台数は上昇しており(900台/6か月・令和5年度)地域のニーズ、消防と協力し合うことで救急の質を担保した医療を患者さんに心掛けております。



## 病棟管理

どうしても救急科のイメージは映画やドラマのイメージが強く病院前治療や救急外来での急病者の治療を思い浮かべる方が多いと思いますが、もう一つの大きな役割として病棟での重症患者さんの管理があります。

救急外来だけで病勢が改善すれば良いのですが、患者さんの病態は重症であればあるほど経時的に流動的に変動があり、その都度対応が必要な場合があります。

院内急変や他科患者さんの急変に関しても積極的に救急科として介入させていただいております。

重症患者治療は臓器別治療を含め全身管理が必要になるケースが多く、時に多臓器不全を伴うことも少なくありません。全身管理を行う集中治療も救急科の大事な仕事と言えます。

他科の先生方にご協力していただきながら済生会one teamとしてスクラムを組んで病魔と闘っております。

当院では重症患者さんを診る病棟として救急病棟15床、HCU (high care unit) 8床を有しており専任の医師と看護師含め多種多様な職種が関わりながら一人の患者さんの治療を行っております。

## 当院のHCU病床▼



病院前診療 災害拠点病院 済生会日田病院

## 当院DMATの活動

当院は、災害拠点病院に指定されており、大分DMATの活動として災害または事故により、被災現場において、医療を必要とする被災者が1名以上いると、消防機関が判断した場合、済生会日田病院に出動要請がありDMATが出動します。

日田玖珠地区は、森林に囲まれており、医療介入するまでの時間がかかることが多く、傷病者の病態が悪化する可能性があるため、当院DMATが出動しトリアージ、初期診療を行い当院または病態に応じた医療機関に日田玖珠広域消防本部と協力し搬送を行います。

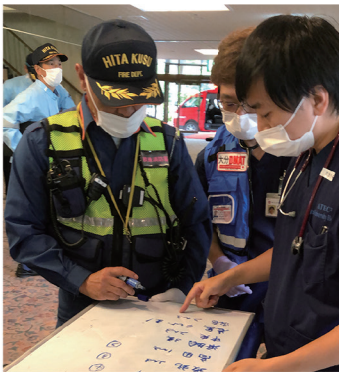


### 森林伐採中の労働災害事案



この事案は、現場から続く主要道路がなく、DMATは消防職員の案内で現場に向かい、初期診療・治療を行い、防災ヘリがピックアップし当院に搬送しました。

### 蜂刺傷による多数傷病者事案



20名以上の蜂刺傷の事案で、複数の大分 DMAT要請があり、トリアージ、初期診療を行い、最重症者に早期の医療介入を行うべく、消防機関、他の大分DMATと協同し活動しました。

# NADESHIKO TOPICS

なでしこトピックス

## ICLSコースで医療者の救命スキル向上へ

令和5年12月16日(土)、済生会日田病院主催のICLSコースが、日田消防署において開催されました。

このコースは、突然の心停止に対する初動の10分間の適切な対応と、チームによる蘇生技術の習得を目的としています。医師、看護師、リハビリスタッフ、救急救命士など、幅広い医療関連職種のプロフェッショナルが参加しました。済生会日田病院だけでなく、近隣の医療機関、介護施設、消防署からも参加者が集まり、地域の救命スキル向上を図る一環としています。

コースは、午前8時30分から午後5時までの長時間にわたり、参加者は実践的なトレーニングと知識の向上に精励しました。

過去には、当コースを修了した参加者が実際の診療現場で急変に遭遇し、コースで学んだ知識と技術を活かして成功裏に救命した事例も報告されています。

今後も、ICLSコースの継続開催を予定しており、これによりますます多くの医療者が救命スキルを向上させ、地域社会に寄与できることを期待しています。

(システム管理室 久保田倫有)



## 第二回なでしこリユース事業の開催

11月13日(月)～11月17日(金)の一週間、第二回なでしこリユース事業を行いました。なでしこリユース事業とは、当院職員から家庭で眠っていた物品をご提供頂き、希望される患者さんへお譲りする取り組みです。今回、職員から新たに提供頂いた物品は、タオル類や衣類、子供用品などの生活用品約242品。期間中は117名の方にご来場頂き、そのうちの65名の方に、192品の物品をお譲りすることができました。冬の寒さを感じ始めた時期でもあり、特に冬物の衣類が人気でした。第一回よりも多くの方にご来場頂き、関係機関の方からも問い合わせを頂くなど、前回よりも大きな反響を頂けたと感じています。また、利用された方から、「助かりました」「もっと広まってほしい」とのお声も多々頂き、今後も定期的な開催継続に向けて取り組んでいきたいと思えます。

(医療社会事業室 医療相談員 小野恵奈未)



## 連携クリニック紹介:006

# 医療法人 淡窓会 大分友愛病院



大分友愛病院は昭和56年にアルコール依存症専門として開設された精神科の病院です。その後平成15年に病院建物を新しく建て替え、認知症治療病棟を開設して現在はアルコール依存症と認知症を中心に精神科一般の治療を行っております。大分県のアルコール依存症治療拠点機関でもあります。

アルコール依存症と言うと、「怖い」や「意志の問題、意志が弱いからなる」と思われる方もおられると思いますが、飲酒する習慣が有れば誰でもなる可能性のある病気です。患者数も日本に100万人程度いると考えられており、決して少なくない病気です。

「好きで飲酒している」や「お酒で一日の疲れを癒す」などと思い晩酌をしていただけなのに、いつの間にか酒量が増え、お酒の失敗が起こるようになり、飲酒をとがめられることで周囲とトラブルを起こしやすくなり孤立していく、といったように進行していく病気なのです。

病院にいくと無理やり酒をやめさせられると思われるかもしれませんが、治療の目的はお酒を飲んで起こる問題を無くす、減らすことなので、今は飲酒量を減らすといった「減酒治療」も行っております。お酒の問題で悩んだら、一度、相談してみてもどうでしょうか。認知症の相談もお待ちしております。

## 大分友愛病院

〒877-0062 大分県日田市上野町1-1

TEL.0973-23-5151 FAX.0973-23-5115



院長：山本 亨先生

### ■方針・理念

安心して治療できる安全な環境と医療を提供します。  
専門性を活かし、信頼される質の高い医療に努めます。  
医療・保健・福祉を通して、地域に貢献できる病院を目指します。

### ■診療時間

平日	午前 9:30~12:00 午後 1:00~ 5:00
土曜日	午前 9:30~12:00

### ■休診日

日曜、祝祭日、土曜日午後  
8/14~8/15、12/31~1/3



## 大分県済生会日田病院では、地域の医療機関との連携のため、地域医療連携ネットワークを運用します。

地域医療室 E-mail [renkei@saiseikai.hita.oita.jp](mailto:renkei@saiseikai.hita.oita.jp)

TEL.0973-22-8738 FAX.0973-22-8830

■地域医療室は、地域の医療機関との緊密な連携を確保し、診療所と病院あるいは病院間での機能分担や機能連携を進め、住民の皆さんが身近な地域で適切な医療を受け入れられるよう、効率的な医療システムの構築に努めています。どうぞよろしくお願いたします。

### ■医療情報連携ネットワーク「ID-Link」

(登録医療機関数 日田市19 玖珠郡4 中津市2) (令和3年度実績:191件)  
連携可能項目:処方、注射、検体検査、画像オーダー、文書・レポート類、ノート、簡易サマリ

済生会日田病院での治療経過をより詳細かつ正確に紹介先の医療機関へ伝達できるよう、当院では医療情報連携ネットワーク「ID-Link」を用いた医療情報を円滑かつ緊密に行っています。なお、ご希望の医療機関の方はお申し付けください。



# 無料又は低額診療のご案内

医療費でお困りの方は、まず、ご相談ください。

済生会日田病院は、社会福祉法人の病院として、社会福祉法第2条第3項に基づき、**経済的な理由によって、必要な医療を受ける機会が制限されることのないように**、医療費の支払いに困っている方を対象に、診療費の自己負担額を減免（無料又は低額診療事業）しています。

●受診を控えたり、受診回数を減らすことのないように、まず、ご相談ください。

医療ソーシャルワーカーが相談に応じ、所定の手続き（面談・所得の確認等）を経て、本制度の適用について決定します。プライバシーは厳守します。

- 対象者例：①市町村県民税非課税世帯の方 ②市町村県民税均等割のみ課税世帯の方  
③「限度額適用・標準負担額減額認定証」の適用を受けている方  
④「後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証」の適用を受けている方  
⑤「就学援助制度」の認定を受けている方  
⑥低所得者等の生活困難者（世帯収入が生活保護基準の1.5倍までの者）



(例) 日田市在住、70歳、一人暮らしの場合：1ヶ月の生活保護基準の1.5倍は97,800円となります。年金収入等がそれを下回っている場合は当制度の該当となる可能性があります。（但し、生活保護基準は家族構成等により変動します）  
※上記は一例です。状況によって対象となる場合がありますので、ご相談ください。

利用方法：①から⑤に該当する方は関係機関からの証明書、認定証、通知書等をご提示してください。  
⑥の方については、面談にて詳細な状況を確認いたします。  
本人または成年以上のご家族等から、診療費減免申請書を提出していただきます。  
院内の所定の手続きを経て、減免の可否について決定し、本人または成年以上のご家族等へ通知いたします。

※失業等により一時的に低所得となった場合やDV（配偶者からの暴力）を受け医療費の支払いが出来ない方、保険証が無い方でも外来診療費・入院診療費ともに相談に応じることが可能ですので、どうぞご遠慮なく医療相談員まで声をお掛けください。

令和5年度

## 巡回診療事業計画のお知らせ

無医地区名	診療所・時間	令和6年		
		1月	2月	3月
東羽田高花	高花公民館 13:45~15:15	16(火)	13(火)	12(火)
		30(火)	27(火)	26(火)
古 後	古後生活改善センター 13:45~15:15	23(火)	20(火)	19(火)

- ※身体のことでお悩みの方は、お気軽にお申出ください。  
※健康保険証、医療受給者証（または高齢受給者証）を持参してください。  
※病院の窓口で現金をお支払いいただくのと同様に有料です。

